

若葉図書館★企画展示

# 文学賞2016

&直木賞を受賞した女性作家

展示期間：1月22日（日）～3月15日（水）

今年1月19日、第156回（平成28年下期）直木賞の選考会が開かれ、恩田陸さんの『蜜蜂と遠雷』が選ばれました。直木賞にノミネートされること6度目での栄冠でした。

ところで一昨年の11月、若葉図書館では「もう少しで文学賞」と題する企画展示を行い、文学賞受賞を逃した作家と作品を紹介しました。

特に直木賞については、選考委員の「選評」とともに、受賞を逃した作品を詳しく紹介したのですが、次に挙げるのは、恩田陸さんの作品（『夢違』および『きのうの世界』）に対する選評の一部です。

「何度か読み返したが、夢の中に入っていけず、独善的にすぎる。」

「作品そのものが読者を掴む。」

「恩田ワールドにどっぷり浸りたい人は別にして、読者にはなはだ不親切な小説である。」等々

これまでの恩田陸さんのノミネート作品については、このように選考委員の辛口の選評が際立っていたのですが、それを乗り越えての直木賞受賞であり、ご本人だけでなく、“恩田ワールド” にどっぷりとつかったファンにとっても、喜びはひとしおだったのではないのでしょうか。

有名な芥川賞と直木賞のほかにも、川端康成文学賞や谷崎潤一郎賞など、世の中には数々の文学賞がありますが、今回は、昨年の文学賞を振り返るとともに、過去15年間の直木賞を受賞した女性作家の作品を集めて展示してあります。



[『文学賞2016』ブックリストはこちら](#)